

患者の皆様へ

2021年3月24日
NTT 東日本札幌病院

当院では小児から分離された細菌に関して、日本感染症学会・日本化学療法学会・日本臨床微生物学会三学会合同全国抗菌薬感受性サーベイランス研究に協力しています。

現在、新しい抗菌薬の開発が低迷する中、抗菌薬に耐性を示す細菌に対する対策が世界的に課題となっています。今回、小児科領域呼吸器感染症患者より分離された原因菌の各種抗菌薬に対する薬剤感受性を測定し、過去の状況と比較検討し、薬剤耐性菌対策に役立つことを目的に、本研究が計画されました。

この研究では、細菌性呼吸器感染症を疑い、培養検査を行った小児患者さんから分離されたインフルエンザ菌、肺炎球菌、モラキセラ・カタラーリス、百日咳菌の菌株と、患者さんの年齢、性別、予防接種歴の情報を利用して頂きます。情報がこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名「三学会合同小児科領域感染症抗菌薬感受性サーベイランス研究 2021年」

2. 研究の意義・目的 国内の薬剤耐性菌の状況を把握し、耐性菌感染症対策に役立つ。小児呼吸器感染症患者より分離された原因菌の各種抗菌薬に対する感受性を測定し、患者背景別の分離菌分布及び感受性推移を過去の情報と比較検討する

3. 研究の方法 小児呼吸器感染症患者さんから分離された細菌を保存し、検査機関に送り、薬剤感受性の測定、インフルエンザ菌、肺炎球菌に関しては血清型の解析を行います。患者さんの年齢、性別、予防接種歴と薬剤感受性、血清型について比較検討します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は元の個人のデータと結びつけられないように匿名化し、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、薬剤感受性測定を行う検査機関の鍵のかかる部屋の棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として匿名化以前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施代表機関 : 千葉大学真菌医学研究センター感染症制御分野 石和田稔彦
(電話 : 043-226-2799)

本件のお問合せ先 : 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス事務局 (電話 : 03-5842-5533)

当院におけるお問合せ先 : NTT 東日本札幌病院 小児科 (電話 : 011-623-7000)